

【第1案】嵩上げ案

●被害が大きいと想定される種崎地区を嵩上げすることで、現地で住み続けることができる案

将来にわたり南海トラフ地震の心配がない町にしたい

船の係留地を埋立て、移転先や交流施設・広場にできないか

ふれあいセンターを防災拠点にしたい

千松公園を埋立て、嵩上げて住宅と避難先としたらどうか

（嵩上げに対する意見）

- ・同じ三里でも地区が変わると文化も違うため、種崎内で嵩上げて移転したい
- ・住み慣れた地域で再び住みたい

- ・種崎地区の一部ではなく、浸水予想エリアの広い範囲もしくは全体を嵩上げてほしい
- ・狭い道路や古い建物が多いため、市主導で種崎地区全体を区画整理してほしい

- (A) 嵩上げ(区画整理事業)
- (B) 区画整理事業
- (C) 二線堤(県道35号)
- (D) 住工複合ゾーン
工場の共同化や住宅との複合化など高度化利用
- (E) 災害公営住宅の整備
- (F) 土砂災害対策

【第2案】移転対応案

●被害が大きいと想定される種崎地区を安全な場所へ移転することで、生命や財産の保護を優先に考えた案。

（移転に対する意見）

- ・利便性が低下するが移転を希望する
- ・高年層は現地再建がいいが、次世代の若年層は移転を希望するのではないか
- ・移転先への接続道路の整備や既存道路の再整備が必要になる
- ・コミュニティの分断と移転先での人とのつながりが不安

震災後の暮らす場所を決めるなら早いほうがいい

- (A) 高台移転
仁井田公園と市有地の山林を活用した新市街地整備
- (B) 内陸移転
ふれあい広場と未利用の私有地を活用した新市街地整備
- (C) 移転元地(建築制限)
- (D) 区画整理事業
- (E) 二線堤(県道35号)
- (F) 住工複合ゾーン
工場の共同化や住宅との複合化など高度化利用
- (G) 災害公営住宅の整備
- (H) 土砂災害対策

バス通り(県道)を嵩上げするなどして、交通網の軸にしてほしい

南北に走る中道を拡張してほしい

（疑問点）

- ・嵩上げの個人負担の費用が知りたい
- ・自分の土地が区画整理になったときの流れが知りたい

【三里地区楽しくなるような未来のまちにするには？】

- ・病院やスーパー・買い物ができる場所がほしい
- ・キャンプ場・海水浴場(千松公園)を賑わせたい
- ・スケートボードパークをつくってほしい
- ・造船所跡地を釣り堀、公園にしてほしい
- ・新堤防と旧堤防の間に遊び場をつくってほしい
- ・地域活動(防災機能も備えた)の拠点となる施設が欲しい
- ・公共交通機関を充実させてほしい
- ・子育て世代など小さなグループで気軽集える施設(公民館等)がほしい
- ・保養地、別荘地、楽しめる場所(坂本龍馬寄留地等の文化・歴史)にしたい
- ・観光ツーリズム(豪華客船や桂浜)
- ・大平山を公園にして災害時に使えるようにしたい

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.1 R7.8.22

三里地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (種崎地区)を 開催しました！

地域の方
29名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ
テーマ1は2、3ページ、テーマ2・3は4ページです

8月3日(日)、種崎地区津波避難センター(たね・シェル)において、三里地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップ(種崎地区)を開催しました。ワーク1では「三里地区の良いところ・残したいもの、困っていること」、ワーク2では「復興パターン2案」、ワーク3では「三里地区が住み続けたいくなるような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

●事前復興まちづくり計画とは？

南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。

市で作ったたたき台を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

●「事前復興まちづくり計画」の策定の効果は？

- ①早期の復旧・復興事業の着手により、まちの復興を早める
- ②適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③人口流出の抑制につながる

●ワークショップの進め方・内容

第1回ワークショップ

令和7年8月3日開催

三里のいいところ残したいもの、普段の生活で困っていること

復興パターン2案について

楽しくなるような未来のまちを想像する

第2回ワークショップ

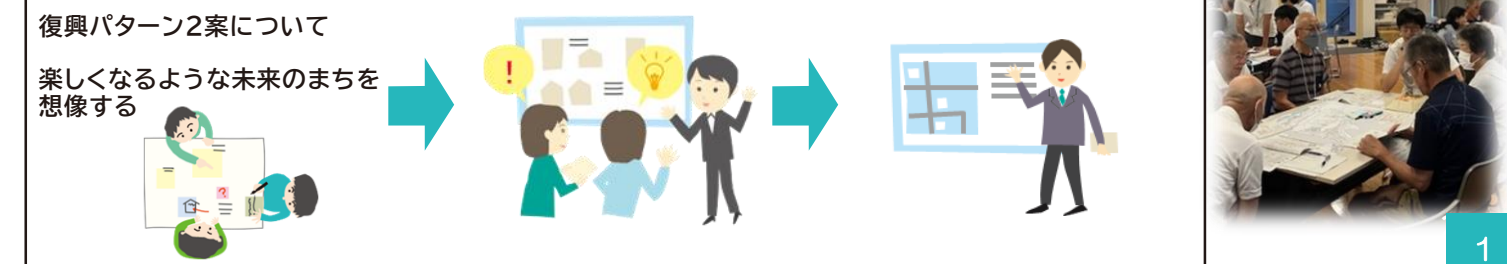
令和7年10月下旬頃開催予定

速やかに復興するために必要なこと

第3回ワークショップ

令和8年2月上旬頃開催予定

災害が起きる前からできること



より良い復興
(ビルド・バック・ベター)
の実現

テーマ1 三里の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて、意見を共有しましょう

暮らし

良い所・残したいもの

- ・スーパー、病院がある
- ・愛ちゃんストア(人が集まって話せる場)がある
- ・日当たりがよく、明るい
- ・ゴミ集積所が分散しているのありがたい

困っていること

- ・スーパーなどの店が少なく、買い物が困る
- ・店がない、散髪屋がなくなった
- ・種崎六区から中区まで行かないとポストがない
- ・空き家が多い(放置空き家)
- ・放棄地の管理ができていない(樹木の管理)
- ・大雨の時は道路から宅地へ水が入る(排水能力の弱さ)
- ・町内放送が聞き取りにくい
- ・野良猫が多い



文化

良い所・残したいもの

- ・各地区に大小のお宮、神社がある(精神的な礎となっているもの)
- ・京都からきた貴船神社がある(コミュニティの場、子ども神輿、お祭り)
- ・2段道に竹で組んだ塀がある(趣のある民間の風景)
- ・お遍路道がある
- ・龍馬マラソンのコースを残してほしい



自然

良い所・残したいもの

- ・釣り場がある、子供も釣りがしやすい
- ・釣りをするために住んでいる人もいる
- ・過ごしやすい気候が良い

アイデア

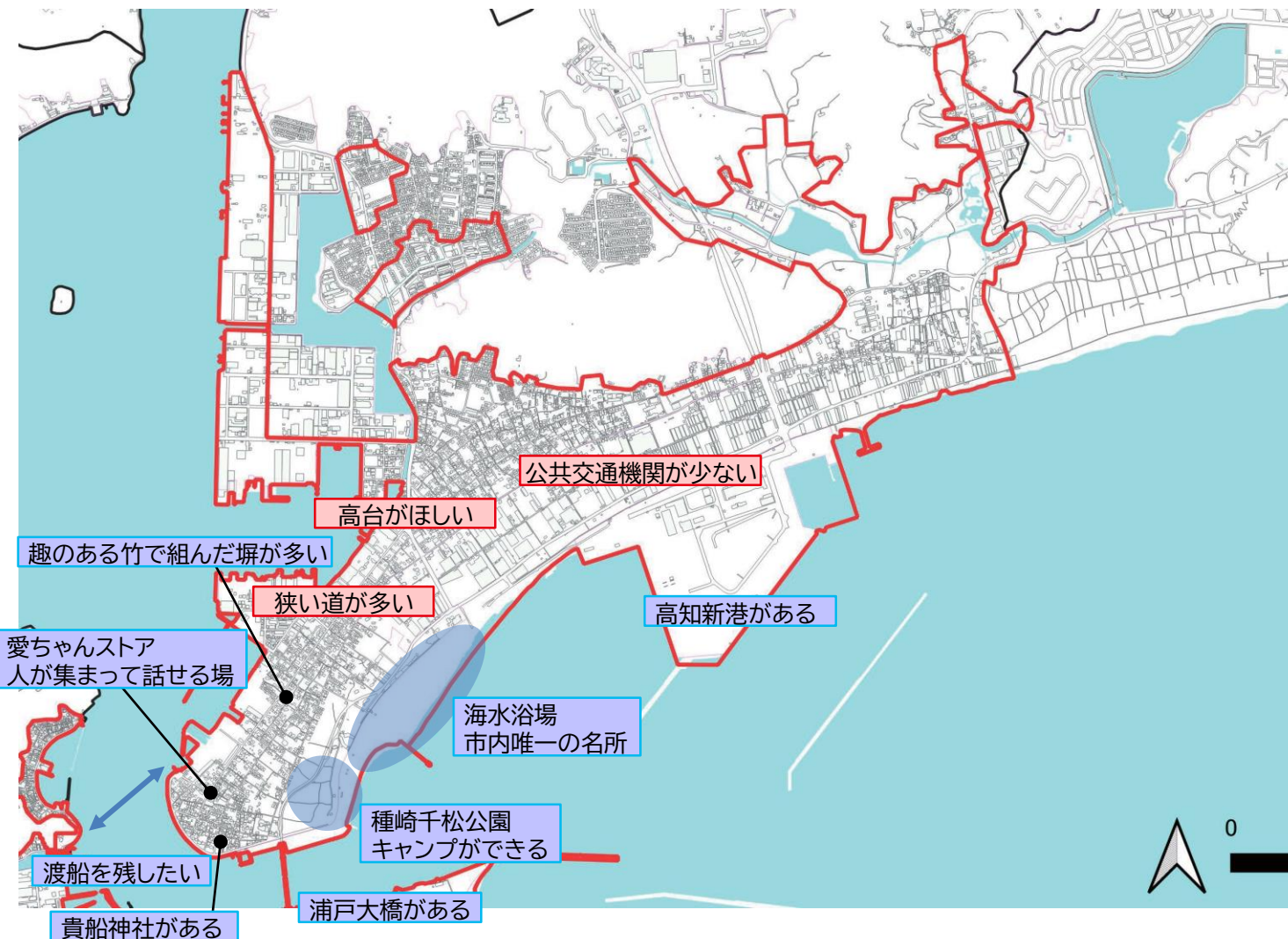
- ・マリンスポーツができるようになれば、まちが活性化すると思う
- ・種崎を避暑地にしたい、人が集まる施設をつくって欲しい



地域

良い所・残したいもの

- ・町内会のまとまりが良い
- ・地域間のつながりが強い、隣近所の仲が良い



公共交通

良い所・残したいもの

- ・デマンドバスがある

困っていること

- ・車がないと移動が難しい
- ・公共交通機関(バス)が少なく、移動手段が少ない



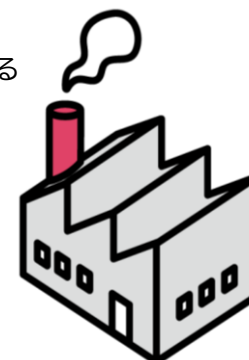
産業

良い所・残したいもの

- ・造船所がある
- ・昔から造船業として好立地である

困っていること

- ・働く場所がない



災害

困っていること

- ・海が近く津波の心配がある
- ・避難所が狭い
- ・避難路となる登山道(大平山ハイキングコース)が狭い
- ・古い塀、高いブロック塀が多い(避難時に不安)
- ・家から避難センターへ行く道が狭く、迂回すると遠くなる
- ・避難先への誘導灯や看板が無く、夜間が暗い



アイデア

- ・避難センターに逃げられない場合に避難できる高い家が分かるマップがほしい

道路

良い所・残したいもの

- ・渡船の県道を残したい

困っていること

- ・道が狭い(救急車の入れない場所もある)

アイデア

- ・南北に走る中道の拡張をしてほしい



お知らせ

ワークショップだけでなく、ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



(回答はこちら↑)

お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課事前復興まちづくり担当
TEL:088-823-9055 FAX:088-823-9085
Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp